

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大阪枚方物流センター 新築	階数	地上3F、地下1F
建設地	大阪府枚方市大字穂谷	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年12月21日
敷地面積	10,089 m <sup>2</sup>	作成者	日本建設(株)大阪支店 高 大栄
建築面積	5,779 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月23日
延床面積	19,662 m <sup>2</sup>	確認者	日本建設(株)大阪支店 高木 康司



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	大阪府枚方市に建設される倉庫+事務所の計画である。内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用、事務所に適切な照明配置をする等、執務環境に配慮しつつ、耐用年数の長い材料の採用、高効率の機器を採用することで、省エネ性能にも配慮している。	その他 特になし。
Q1 室内環境	内装材には全面的にF☆☆☆☆を採用し、また全館禁煙とすることで、空気室環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 景観届が出されており、植栽による良好な景観の形成、外観パース検証を行う等、まちなみに配慮している。
LR1 エネルギー	LEDなど高効率の機器を採用することで、BEI値の低下に貢献している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。また、荷捌用車両の駐車施設を適切に配置し、車両出入口の幅等に配慮することで、周辺道路の渋滞緩和に寄与している。
Q2 サービス性能	耐用年数の長い外装、内装、配管材料を採用し建物の維持管理に配慮している。また、階高や壁長さにゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用や再利用できるユニット部材の採用、使用材料を削減することで、省資源に配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0131

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)大阪枚方物流センター 新築工事					
		建設地	大阪府枚方市大字穂谷					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					5		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				5.0	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								